

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年1月解析分)

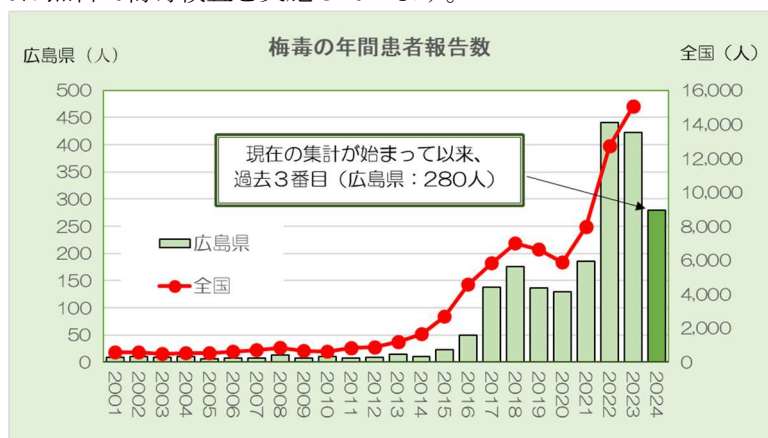
1 今月のトピックス

梅毒の年間患者報告数は、過去（1999 年以来）最多の 2022 年から減少傾向にあります！

性的接触などで感染する梅毒について、2024 年の県内の報告患者数は 280 人でした。感染症法に基づく現在の集計が始まって以来、3 番目に多い数となりましたが、昨年と比較して大幅に減少しています。

梅毒は、早期に治療すれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染しやすくなる可能性や妊婦においては死産などの可能性があり、早期発見・早期治療が大切です。

このため、保健所では無料で梅毒検査を実施しています。



■ 梅毒とは？

【病 原 体】梅毒トレポネーマ（細菌）

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用（ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり）

【症 状】

感染後 3 週間

- ・感染部位（陰部、口唇部、肛門等）のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後 3 か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹（バラ疹）、乾癬



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

■ 県保健所（支所）における梅毒検査（要予約、無料、匿名、即日）

【検査概要】

- ・T P 法（イムノクロマト法）を用いた血液検査。H I V 検査と同時実施
- ・採血後、約 1 時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から 3 か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。

【予約方法等】

- ・県ホームページ（広島市、呉市、福山市の問い合わせ先を含む）をご覧ください。



広島県 梅毒検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 6 年 12 月分(令和6年12月2日～令和6年12月29日:4週間分)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号		疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記 号
1	インフルエンザ	15,622	33.52	9.10	↑	11	ヘルパンギーナ	6	0.02	0.20	↓
2	新型コロナウイルス感染症 (covid-19)※1	1,802	3.87		↑	12	流行性耳下腺炎	10	0.03	0.08	↗
3	RSウイルス感染症	50	0.17	0.30	↘	13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.04	
4	咽頭結膜熱	148	0.50	1.19	↗	14	流行性角結膜炎	104	1.37	0.58	↑
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	496	1.69	1.40	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.04	
6	感染性胃腸炎	1,300	4.42	4.36	↗	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.04	
7	水痘	77	0.26	0.16	↗	17	マイコプラズマ肺炎	210	2.63	0.04	↘
8	手足口病	96	0.33	0.70	↓	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	18	0.06	0.14	↑	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.04	
10	突発性発しん	66	0.22	0.24	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 6 年 12 月分(12月 1日～12月 31日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記 号
20	性器クラミジア感染症	48	2.09	2.90	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	79	3.76	3.40	➡
21	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.96	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.11	
22	尖圭コンジローマ	11	0.48	0.56	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.01	
23	淋菌感染症	13	0.57	1.19	➡	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

<u>急増減疾患！！(定点当たり前月比2倍以上増減)</u>						
○急増疾患	インフルエンザ	{	3.19	→	33.52	)
	Covid-19		1.51	→	3.87	)
	新型コロナウイルス感染症					
	伝染性紅斑	{	0.02	→	0.06	)
	流行性角結膜炎	{	0.68	→	1.37	)
○急減疾患	手足口病	{	1.11	→	0.33	)
	ヘルパンギーナ	{	0.07	→	0.02	)

発生記号(前月と比較)			
急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増 減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	73	19	22	20	177

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾 患 名 (管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	33	結核(33)〔西部保健所(1)、西部東保健所(2)、東部保健所(8)、北部保健所(2)、広島市保健所(11)、呉市保健所(4)、福山市保健所(5)〕
三 類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔西部保健所(2)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕
四 類	5	E型肝炎(1)〔西部東保健所(1)〕 つつが虫病(3)〔西部保健所(2)、広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(1)〔広島市保健所(1)〕
五 類	62	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(3)〔呉市保健所(3)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(2)〔広島市保健所(2)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(1)〕 急性脳炎(10)〔東部保健所(1)、広島市保健所(5)、呉市保健所(2)、福山市保健所(2)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)〔西部東保健所(1)、福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(11)〔西部保健所(2)、広島市保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(14)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(3)〕 百日咳(13)〔西部保健所(1)、広島市保健所(12)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2024年12月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	19	37	26	34	35	32	28	25	16	35	20	33	340
	小 計	19	37	26	34	35	32	28	25	16	35	20	33	340
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	2	0	5	9	4	15	8	8	17	6	81
	小 計	2	5	2	0	5	9	4	15	8	8	17	6	81
四類	E型肝炎	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	7
	A型肝炎	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	11
	デング熱	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	5
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	3	3	0	0	0	3	0	0	10
	日本紅斑熱	0	0	0	0	22	10	4	11	7	15	4	0	73
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	4	3	2	3	5	4	12	2	4	8	5	1	53
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	5	3	5	5	32	19	18	15	11	27	18	5	163
五類全数	アメーバ赤痢	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	1	6
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	4	7	1	6	4	5	1	11	8	3	56
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0		0	0	1	1	1	0	0	3
	急性脳炎	4	1	2	0	1	1	1	0	1	0	1	10	22
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	2	4	6	2	5	5	1	0	2	4	2	40
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	2	1	0	2	0	1	9
	ジアルジア症	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	3	2	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	0	4	1	1	4	2	1	2	2	3	11	35
	水痘(入院例)	0	2	1	0	1	2	1	0	0	0	1	1	9
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	19	19	29	20	22	24	36	22	24	31	20	14	280
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	2	0	1	1	1	1	0	0	1	2	11
	百日咳	2	0	2	0	1	2	1	5	8	13	6	13	53
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	42	31	52	39	34	47	56	37	39	62	50	62	551
合 計		68	76	85	78	106	107	106	92	74	132	105	106	1135

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和6年12月1日～令和7年1月20日

資料作成：令和7年1月22日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
101	106	76	8	22

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
つつが虫病疑い	つつが虫病リケッチャ Kawasaki型	2	4	血液, 痂皮	R6. 12月	70, 80代	西部

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	24	25	鼻咽頭, 咽頭, 喀痰, 気管吸引液	R6. 12月～R7. 1月	0～92	西部東, 東部, 広島市
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	42	42	鼻腔, 鼻咽頭, 咽頭	R6. 12月～R7. 1月	0～71	西部東, 東部, 東部(福山), 北部, 福山市

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	ライノウイルス+新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	14	西部東
下気道炎	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	2	西部東
感冒	ヒトコロナウイルスHKU1	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	6	北部
発熱	マイコプラズマ・ニューモニエ	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	14	北部
発疹	ライノウイルス+ヒトヘルペスウイルス7型	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	1	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和6年12月1日～令和7年1月20日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	5	ダニ類媒介感染症疑い(5)
西部(広島)	3	ダニ類媒介感染症疑い(1), 新型コロナウイルス感染症(2)(広島市内)
西部(呉)	0	
西部東	28	インフルエンザ(18), 新型コロナウイルス感染症(3)感染性胃腸炎(1), 咽頭結膜熱(1), 上気道炎(2), 下気道炎(3)
東部	41	ダニ類媒介感染症疑い(1), インフルエンザ(12), 新型コロナウイルス感染症(28)
東部(福山)	3	インフルエンザ(3)
北部	17	インフルエンザ(13), 感冒(1), 発熱(1), 発疹(2)
福山市	6	ダニ類媒介感染症疑い(1), インフルエンザ(5)
呉市	3	ダニ類媒介感染症疑い(3)